法において、病院・病床

医療介護総合確保推進

月31日に地域医療構想策 することとされ、本年3 の機能分化・連携を推進

今回の改革では、病院に

を抱えつつ、地域に必要

在、医師不足などの課題 師の地域偏在・診療科偏 はならない。病院は、医

な医療を提供してきた。

とって、適切な医療を提

sereseresereseresereserese

足お先に法人化した大学 病院のほうが、むしろ病

連携については、下に

できる。

県立病院に着任して一

問題、認知症などはほぼ 確保推進法、2025年 保険改定や医療介護総合 かどうかの岐路に立つこ 供する体制が維持できる

療費抑制があり、そのた

た。しかし、背景には医 定ガイドラインが示され

間は大学人として過ごし

にため、県立病院に身を

留学の2年間を除く32年 病院の合計

3年間、海外

主な関心事で、大学病院

部長として過ごした天理

か、国際的学会活動にい 関連病院人事をどうする 文を量産するか、医局・ を獲得していかに研究論

かに邁進するか、などが

院に着仕するまで、内科

てから、昨年の10月に当

昭和52年に医師となっ

あったので、競争的資金

教授の権威は地に落ち、

う。もちろん大学病院が 類に属していたように思 ビスなどに関心の高い部

白い巨塔」などと揶揄

されており、その施策に

療が厚労省の施策に翻弄 番驚いたのは、いまの医

従わないと収益が上がら

の後勉強してみるとさす 否めない。もっとも、そ 蚊帳の外であったことは

とであった。その意味で

フがウェイターやキャッ も、人手不足でそのシェ

シェフの腕が優れていて ると思われる。どんなに 足度を高めることに尽き 員のやりがいと患者の満

まされていると感じたこ 職員の経営感覚も研ぎ澄 院運営の自由度があり、

天学病院から県立病院に着任して

滋賀県立成人病センター病院長

宮地

良樹

レジデントおよび皮膚科

(1)

の「象牙の塔」の住人で

営・医療安全・患者サー で、私などはまだ病院経 歴任したこともあったの スクマネージャーなどを 営担当の副院長や総括リ 尾であった。もっとも経 の経営は優先順位の最後

がやりがいや充足感のあ

る立場ではあったと述懐

は雑用サービス係ではあ

ったが、ストレスも多い

ないので、もっぱら教授

教室員は言うことを聞か

て、世間で言うところ

半の22年間は大学教授と の連続であった。特に後 置いてみると、日々驚き



会長

片岡 慶正 次医療圏域ごとに検討 を進める。 域の実情に応じた検討 すべきものがある。地 回復期・慢性期など二

発行所 (滋賀県厚生会館) http://sbk.co-site.jp/

^{-般}滋賀県病院協会 大津市京町四丁目3-28 TEL 077 - 525 - 7525

嶋村氏:県としては、先 (3) 地域医療構想策定 整備に対する支援 優先した支援を検討し 連携に取り組む病院に 行して病床機能の分化 に連動する施設・設備

嶋村氏:基金のカテゴ 片岡会長:ソフト面の人 材の確保育成について

彦次長を含め10名、病院協会からは48名が参加した。

向けての県の進捗状況

地域医療構想策定に

めに患者中心の医療から

とになる。今後の県の考

離れてはならず、また医

について会長

片岡

療現場の気概を失わせて

化に関するもので、二、 リーは三つある。一番 成に関するソフト面の 三は在宅医療、人材育 目がハード面の機能分

ものである。昨年度か

地域医療構想の策定

討会議は公開しており、 を進める。県の医療審 議会、地域医療構想検 会を設置し丁寧な検討 病床機能分化·連携部

嶋村清志健康医療課長:

嶋村氏:高度急性期機能 べきものと、急性期・ など三次圏域で検討す

藤本武司県健康医療福祉部長が挨拶、濱上洋副会長の司会で4つの協議事項が話し合われた。県からは「京滋ドクター ヘリ(KANSA-ゆりかもめ)」の運航状況が紹介された。出席者は県健康医療福祉部から藤本武司部長、角野文 平成27年度の病院医療懇談会が、9月2日大津プリンスホテルで開催された。片岡慶正会長の開会の挨拶のあと 滋賀県病院協会理事 宮下 一開催され

(1) 必要情報の早期提 供と適切な準備期間の 県のHPに掲載する。

構想検討会議を通して る。病床機能の分化と 情報を速やかに提供す 一次医療圏の地域医療

浩明

平成27年度「病院医療懇談会」

(2) 地域性を考慮した

河瀬隆雄医療福祉推進課 保留している。 が、現在、国が一部を も予算を計上している ら補正を組み、本年度

(1) カンファレンスの

河瀬氏:退院支援機能強 援部門職員と医師、訪 問看護、在宅支援関係 に委託して病院退院支 化事業として病院協会

機関との連携会議や研

確化、地域からの信頼、 る。次の三点について、

(2) 市民向けの啓蒙活

で啓発を行う。 河瀬氏:県の保健医療計 (3)医療機関への支援 画では、 置かれている。在宅医 寮セミナーを平成25年 に150カ所と目標が 診療所は、平成29年度 在宅療養支援

着任時、 いかと思う。その意味で ことで教室の業績が上が 得する今日この頃である。 その成功を認めて褒める まったので、まだ数年は のが目標 ントツー位の病院にする 変わらないな、と妙に納 は病院長もミッションは るのと同様の構造ではな 度より県医師会と共催 「病院を県内ダ 」と宣言してし

り起しや外国人の研修 長:潜在有資格者の掘 などを行う。

収益増、病院の役割の明 年のアンケート調査では 患者確保に貢献したこと ら6病院に減少した。 昨 を利点とする一方、人的・ 支病) は昨年の8病院か 在宅療養支援病院(在

行政の関与が不可欠であ が多かった。在支病を増 精神的負担を訴える病院 県の対応や考えは。 やすには、地域の理解と

河瀬氏:地域協議会や保 演会を開催し、在宅看 健所がフォーラムや講

仕事をすべきだし、他の ることで、いわばマネジ 高め、職員もやりがいや 満足度やリピーター率を メントで収益を上げるこ 制度や医療施策に精通す ろう。病院執行部は保険 充足感に満たされるであ あろう。それが、顧客の を充足して分業すべきで 業務は無理をしても人手

える関係 修を通し て顔の見 づくりに

在宅医療の推進につ

されるよ 円滑な移 行が促進 がおネットの普及に向 年度も進める。ICT 参考に、他の医療圏域 う、大津 けて、市町や関係機関 策定に向けた事業を今 でも退院支援ルールの 圏域でのモデル事業を に関しては、淡海あさ

ACTORING TO THE TOTAL PORT OF THE TOTAL PROPERTY. 取りの啓蒙にも取り組

ることなく勤務環境と患 に兼務や業務超過を強い とに集中すべきで、職員 以上早く退職して着任し であるが、定年より二年 苦闘する毎日が続きそう

取り組ん 在宅への 病院から いている。 でいただ

松末吉隆滋賀医大病院 名が受講した。 院勤務医4名を含む52 しており、これまで病

マップについては、平 んでいる。医療機関

型の家庭医や総合診療 長:滋賀医大は、都市 グラムを作成している。 医の育成に向けたプロ

作成を進める。 が今後全市町でマップ 市町で作成されていた おり、

昨年12月には15 度から実施して

る介護環境もない。以下 る。退院後に在宅で支え の4点について滋賀県の 家族の協力で対応してい ても抑制や鎮静剤投与、 興奮・せん妄状態になっ ついて 周防正史理事 高齢入院患者さんが、 認知症対策の推進に

(1) 認知症患者の早期 発見早期治療

対応は。

河瀬氏: 県のHPで相談 いる。地域包括支援セ の地域支援推進員の配 援集中チーム、認知症 布している。 平成30年 成して、医療機関に配 を掲載したチラシを作 知症に関した相談窓口 ンターの一覧など、認 る医療機関を公開して 窓口、診断治療のでき 置が義務付けられた。 度までに認知症初期支

科省の傘下にあったこと 同様のはずであるが、文 とであった。大学病院も ない構造になっているこ や臨床研究が主な標的で、 もあって、高度先進医療 海路を示していることに がに厚労省の役人は大局 もう一つ驚いたのは、一 気づいたのも事実である。 おり、その施策は正しい 的に医療情勢を分析して

はまだまだ県立病院には いると痛感する。

て総括してみると、病院 「伸びしろ」が残されて 着任からほぼ一年を経

経営で肝要なことは、職

あろうし、シェフも疲弊 シャーの仕事も兼務して するに違いない。シェフ いるようなレストランは きっと客足が途絶えるで

はシェフでしかできない と確信するようになった。 考えてみれば、大学教授 者療養環境を改善すれば が教室員を大切に思い、 に結びつくのではないか 巡りめぐって結局収益増

は病院協会理事会をお騒

力は充実しており、当分

まだまだ気力体

初期支援集中チームは

ご寛恕願いたい。 がせしそうであらかじめ

れています。

5分以内に出動し、ラン は2分以内、ヘリは概ね

デブーポイントと呼ばれ

般に『空飛ぶ救命室』と ます。ドクターヘリは一 る地点で救急車と合流し

言われていますが、機内

件受け入れることを可能

に、ドクターカー・ドク

平成27年度第1回医事研究会

身近な接遇」につい

7

患者さんの満足度を上

済生会滋賀県病院救命救急センターならびに 京滋ドクターヘリ(ゆりかもめ)を見学して」 大津市民病院 看護師 を受け入れ、総救急受診 年間4000件の救急車 とされています。 当大津市民病院でも、



院にて研修に参加し、よ 今回、済生会滋賀県病

早期医療介入に取り組ま リーシステムを提唱し、 るというドクターデリバ を患者のもとへ送り届け い情報交換の機会となっ 救急科の専門医と看護師 トクターカーやドクター ヘリを使って、いち早く 要請後、ドクターカー 済生会滋賀県病院では いては、救急車応需率 ます。やむなくお断りし 内で行い、状態が安定し らない姿勢を貫かれてい 仕組みになっています。 回避や円滑に活動できる ニタリングされ、事故の 向は、リアルタイムでモ 管轄内の個々のヘリの動 には治療・処置は救急車 は非常に狭いため、実際 100%を目標とし、断 てからヘリで搬送します。 また、救急車対応につ

する等、年間6000件 ミーティングを毎日開催 を事後検証し、全当直者 を超える救急車をほぼ全 えないケースであったか た場合は、本当にやむを 供してくださった、滋賀 カーの運営、RRS System:院内で急変前 県病院に感謝するととも 県病院協会と済生会滋賀 ム)の導入など、防ぎえ (Rapid Response このような学習の場を提 でいます。 症』の撲滅にも取り組ん た死』や『防ぎえた後遺 からの医療介入システ 最後になりましたが、

三病院合同でのドクター とした独自のトリアージ システムの教育や、県内 Acuity Scale) を基本 ∢ທ(Japan Triage and が提供できるよう、JT に早期に適切な医療資源 より緊急性の高い患者様 者数は2万件を超えます。 いと思います。





進めている。 年度の事業目標は

ターヘリを通じて滋賀県 が団結して助け合い、滋 ながらも尽力していきた が高まるよう望み、微力 賀県全体の救急のレベル

昨年度までに3市で設 症の人と家族の会の滋 年度9市町で設置され 賀県支部に委託してお 物忘れ介護相談を認知 る予定である。滋賀県 推進員に関しては、今 が設置する。地域支援 置され、今年度は4市

り、開設日を週3日か だが、今後は全市町で ケアパスは現時点で作 ら週5日に拡大した。 340名だが、平成29 と連携して取り組みを 知症相談医を県医師会 る。かかりつけ医の認 作成されるよう支援す 成済みの市町は5市町 番目に多い。認知症の と滋賀県は、全国で3 現在、県下に13万2千 でいただいているが、 成を各市町で取り組ん 認知症サポーターの養 人おり、人口比にする (3) 在宅療養を支援す

増を目指す。 は、3年間で831床

言葉、代案を出すことを 常に意識しておくことで (4) 認知症対策チーム 河瀬氏:病院勤務の医療 の強化及び実動

常に笑顔で接してもらい

思います。忙しい時こそ いられない!!」と思われ を実践するのは難しいと 感じた研修になりました。 を見直すべきだと改めて 相手を思いやる気持ちを 出来るように、少しずつ る方もいるかもしれませ 大切にする、日々の行動 **一寧に落ち着いた対応が** 忙しい時に「思いやる心」 心が亡くなると書きます。 ん。「忙」という漢字は 「忙しいから関わって あったが、今年度は10 従事者向け認知症対応 周知や利用については、 域への配置に向けた支 認定看護師のいない圏 圏域により偏りがあり、 現在県内で15名いるが、 認知症の認定看護師は、 名の予算を確保した。 成は、昨年度5名で 認知症サポート医の養 研修を実施している。 症疾患医療センターの

至らないことも多々ある

いただく事になりました。 究会の役員を務めさせて

接遇」をテーマに近江八

7月30日(木)「身近な

られるところは受付であ

り、病院の顔です。身だ

声葉かけ、傾聴と共感、

として、患者さんの目線、

上させるための基本構え

患者さんの満足度を向

説明と納得、クッション

しなみは清潔感を保ち、

幡市立総合医療センター

総合医療センター、高島

今年度、近江八幡市立

と思いますが、一生懸命

努めさせていただきます

のでよろしくお願いいた

拶⑤態度があります。病 だしなみ③言葉使い④挨 として①笑顔・表情②身

することです。

たら…と考えながら対応 分が患者さんの立場だっ

院で患者さんが一番に来

医事課長

河瀬ゆかり

ことです。 接遇の 5原則

ヴォーリズ記念病院 公益財団法人近江兄弟社

お忙しい中、27病院53名

にて開催いたしました。

の皆様にご参加いただき

者さんの様子やまなざし

別対応できる想像力③患 ニュアルからの脱皮②個 げるサービスには①マ

から気持を見抜くことが

大切になります。もし自

ありがとうございました。

接遇とは、「もてなす」

市民病院、ヴォーリズ記

念病院の3病院が医事研

します。

▼一面から続く (2) 入院環境の整備

河瀬氏:病院勤務の医療 う検討会議を実施する。 課題の抽出や協議を行 いただいた。今年度は、 るアンケートを行って 年度は先進地の見学や 院協会に委託して、昨 をめざしている。一般 年度は280人の受講 して、昨年度41病院 リキュラムが国から示 従事者向け認知症対応 病院内の認知症に関す 策促進事業として、病 病院における認知症対 され、看護協会に委託 力向上のための研修力 95名が受講し、今

河瀬氏:平成27年3月に いる。特養老について 定して整備を推進して 必要な各福祉圏域の介 滋賀高齢者福祉プラン 策定したレイカディア るための環境整備 護施設の見込み量を設 によってこの3年間に

いない。

る。救急車を要請しない 場での対応に苦慮してい

ケースは実態がわかって

(2) 出口問題として

できていない。

疾患患者数は、把握が 急を直接受診した精神

コール中毒や薬物乱用者

とのことであった。救 場での混乱はなく順調 神科救急会議では、現

であると救急隊員でも現

を赤、黄、白の3つに分 や輪番病院が対応する。 黄は精神科入院治療対応 センターがコントロール い滋賀県精神科救急情報 精神科救急システムを用 健福祉法に基づき滋賀県 類された。赤は、精神保 搬送における緊急度区分 る基準の改正が行われ、 で、これも情報センター 輪番病院が対応する。

を公開している。

ル協議会に報告されてい ける取り扱いについて

間を要し、過量服薬、自 すると微増している。救 年上半期2・8%と比較 上半期2.5%、平成26 傷行為、自殺企図、アル 急車で搬送するまでに時 のうち精神疾患は871 全搬送数28、686人 救急搬送状況調査表では 12月31日の精神疾患等の る平成26年7月1日から 人3・3%で、平成25年 メディカルコントロー 市川忠稔障害福祉課長: (1)入口問題として

導入後、平成27年3月 精神疾患のトリアージ

の滋賀県メディカルコ

ントロール協議会や精

白は外来対応である。症 送および受け入れに関す 26年2月3日傷病者の搬 負担軽減を期して、平成 の短縮と救急医療機関の 救急車の現場滞在時間 市川氏:救急病院受け入 では、各圏域の救急告 り組んでいる。湖南サ る。他の圏域では、自 者を置いて連携してい 大津市保健所では担当 自殺未遂者については、 応していただいている。 ぎは、各医療機関で対 れ後の精神科へのつな 知病院および市町の代 ている。加えて、全県 という取り組みを行っ 保健所が中心となり取 殺予防情報センターや **病院やクリニックに出** 表者、あるいは精神科 江自殺未遂者支援事業 ボート相談事業、東近

県のHPにおいて情報

精神疾患の救急にお リアージは問題ないが、

いる。現場としては、ト ンでは異常のない身体主 の引継ぎが難しいという 出口の問題を指摘してい 身体的治療後の精神科へ ニック症状と定義されて 状、原因の明らかなパ 訴、不眠、不安、うつ症

Better Health, Brighter Future



を行っているとのこと

検討会議にて意見交換

自傷他害があるもの、黄

県自殺未遂者支援対策

席していただき、 滋賀

状トリアージでは、

状が軽症でバイタルサイ もの、白は精神疾患の症 想や強い自殺念慮のある は急性増悪症状で幻覚妄



タケダから、世界中の人々へ。より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社

助訓練を行った事が思い

てて、がれきの医療・救

13年には解体中の救命セ

しての訓練でした。平成

年の大規模災害訓練通り

医療センターDMAT」

の高揚を目的として、例 の技術の向上と防災意識 北の災害拠点病院として

い病院のエリアを使用

ンターを倒壊家屋に見立

施いたしました。病院職 傷病者の受入れ訓練を実

AT」の2チームが駆け

済生会滋賀県病院DM

来ました。当時耐震設計 7年ぶりの訓練が巡って として、平成20年以来の た。湖北地域を担当地域 天を突いて実施されまし 防災訓練があいにくの雨

れましたが、当院では湖

4会場に分かれて行なわ 市の主会場と長浜市内の

の新病院が建てられ、新

ヶ瀬・関ヶ原断層帯を震

は9月6日午前7時に柳

さて、今回の防災訓練

平成27年度滋賀県総合防災訓練における 長浜赤十字病院の傷病者受入・DMAT訓練を終了し 地方本部)に災害医療コ 訓練の効果宜しく手際よ 平成27年9月8日

平成27年度滋賀県総合

濱上 院長

長浜赤十字病院

という想定でした。米原 地域で震度7を観測する 源とする地震により湖北 洋 EMIS(広域災害救急 内災害対策本部を立上げ、 長浜小学校避難所に救護 ーディネーターチームを、 長浜赤十字病院として院 妣一班を派遣する一方で、

医療情報システム)を使 支援の為「近江八幡総合 者の来院状況から、診療 しました。当院への傷病 ーズ等を入力し発信いた 傷病者受入状況・医療ニ 用し、病院の被災状況や 来ました。訓練では赤十 君に参加していただき、 会の安全と市民生活を守 より臨場感を出すため、

害救護に取り組むことが が十分に成果を発揮し、 病院職員が一つになり災 るための日頃の取り組み

をして、実戦さながらの 特殊メイクや傷病者演技 として地域住民(長浜曳 字の使命としての地域社 訓練を実施することが出 山まつり若衆会)の皆さ く行われました。患者役 んや京都橘大学の学生諸

上げます。

と御協力により、無事に 係機関の皆さまの御理解 をこころより厚く御礼申 訓練が終了出来ました事 最後になりましたが、 関

·成28年度県予算の編成に向けた要望活動を実施しました 大学生42名の総勢281 て長浜保健所(災害医療 クションカード検証とし 滋賀県の災害医療本部ア 名に参加していただき、 員239名と地域住民・ 送等の手続きが、毎年の アでの応急処置を経て入 い、黄・赤の各治療エリ 傷病者のトリアージを行 つけました。まず全ての 院、手術室直行、転院搬 り返りを行ないました。 災害医療コーディネータ 出来ました。 関ホールに集合して当院 -を中心にして訓練の振 訓練終了後、全員が玄







滋賀県病院協会平成27年度第29回ソフトボール大会 平成27年9月23日(水・祝) 於:今津総合運動公園

勝 セフィロト病院 済生会滋賀県病院

準優勝 第3位 滋賀八幡病院

渡され(写真)、各項目 岡会長から藤本部長に手

2、地域医療介護総合確

する積極的な支援) 分化・病棟再編等に対

についての趣旨説明とと

ついて(積極的な予算

システムについて(遠

を対象とした教育支援 賀県全域の医療専門職

強化、各圏

ームの増員

滋賀県内の医師

育支援システムの確立) 隔·広域医療関連職教

> 強化、③周 域での実動

辺症状で対

保基金の有効な活用に

意見交換が行われ

項目にわたる要望書を片 議を重ね取りまとめた10 めた計6名。

これまでの理事会で協

情報共有、⑤医療機能

と

ICTを活用した滋

師・対策チ 専門看護 ②専門医・ の運用強化、 症連携パス

次長ほか関係課長等を含 藤本部長、瀬古・角野両

組を支援する協議の場

6、医療安全対策事業に

活動、認知

5、院内感染対策事業に

早期発見の

ついて (田 策の推進に

ための啓蒙

自主的な医療機関の取 地域の実情を踏まえた

ついて

の設定、④圏域別検討

ついて

方向の構想区域間での

7、びわ湖メディカルネ

ットの円滑な運用につ

予算に対する要望書」を 訪問し、「平成28年度県 県健康医療福祉部長室を

性・透明性の確保、③

-ターソースの統一

る確保と県内への定着

臨床研修医のさらな

10、認知症対

看護部長部会長の4名が

の提供と共有、適切な

と地域偏在の解消)

推進による確保・定着 (関連事業の積極的な 護師確保等について

に向けて(①必要情報

地域医療構想の策定

準備期間の確保、②デ

右川両副会長および小谷

平成27年8月19日

要望の主な内容

9、健康情報発信事業に

片岡会長、濱上・

平

提出した。

対応いただいた県側は

国立病院機構東近江総合医療センタ 第4位



優勝チー セフィロト病院復勝チーム



準優勝チーム 済生会滋賀県病院

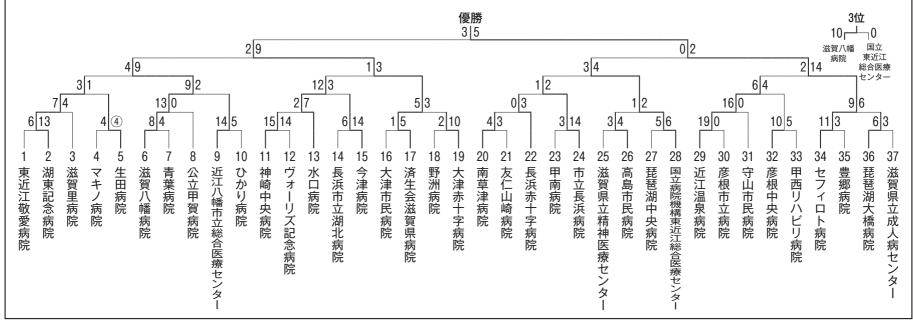
優勝旗はセフィロト病院へ!!

病院協会主催第29回ソフトボール大会は、9月の5連休(シルバーウィーク)最終日の9月23日(水・祝)、高島市今津総合運動公園の8面を借り切って開催さ れた。今年は県内57病院の内37病院がエントリーされており、秋晴れの下、7時からのライン引きに始まり8時30分からの開会式では、「市立長浜病院の3連覇な るのか、或いは、それを阻止する病院が現れるのか、怪我のないよう今日1日頑張って下さい」の片岡会長の開会挨拶・始球式に始まり熱戦が繰り広げられた。

球審には滋賀県ソフトボール協会のご協力を仰ぎ、結果は、下記のとおり5回戦を勝ち抜かれた「セフィロト病院が優勝旗」を手にされました。「準優勝は済生 会滋賀県病院」、「第三位は滋賀八幡病院」、「第四位は東近江総合医療センター」でした。

逆転で優勝が決まった瞬間セフィロト病院は、畑下院長を胴上げしその喜びを表しておられました。

選手の皆様、応援の皆様、関係者の皆様、本当に有り難うございました。



№平成27年度救急医療功労者厚生労働 受賞おめでとうございます (平成27年9月9日) 大臣表彰受賞



※平成27年度救急医療功労者知事表彰受賞(平成27年9月7日)(写真右より)

☆産科医療功労者の厚生労働大臣表 彰受賞 (平成27年9月10日)



診療局理事

嘉彦氏

ホテル

○平成27年度第1回事務長研修会

○平成27年度第7回理事会 平成27年10月21日水 病院協会

○平成27年度退院支援機能強化事業全

済生会滋賀県病院

副院長

吉岡

誠

氏

県庁新館7階

○平成27年度第2回事務長研修会

平成27年度(第33回)県医師会・病

(滋賀県知事との記念写真)

大津赤十字病院

副院長

土井隆

郎

氏

副院長・救命救急センター長近江八幡市立総合医療センター

立川

弘孝氏

○平成27年度医療安全対策研修会

○平成27年度第4回看護部長部会 平成27年11月25日休 病院協会 会

副院長・小児科部長

西澤嘉四郎氏

近江八幡市立総合医療センター

○平成27年度(第6回)女性医師ネッ 平成27年10月1日休 病院協会 会

平成27年10月9日金 大津プリンス

平成27年10月16日金 コラボしが21 会

平成27年11月11日水

会議室

○平成27年度第8回理事会ならびに 平成27年度第3回医事研究会 平成27年11月18日水 コラボしが21

平成27年11月19日休 院協会連絡協議会 大津プリンス

平成27年11月20日金 コラボしが21

○平成27年度(第13回)病院医療機能 評価受審フォーラム

平成7年12月5日出 ホテル3階

○平成27年度第9回理事会 3階 大会議室

○平成27年度第10回理事会ならびに 平成27年度院長·事務長合同研修会

平成28年1月13日水

○平成27年度看護部長部会研修会 平成28年1月22日金 コラボしが21

議長が選出され会議は始まった。内

3階 大会議室

○平成27年度医療安全対策窓口担当者

3階 大会議室 平成28年1月26日火 コラボしが21 第 35

民交流センター 平成28年2月21日田 回・創立65周年記念 ピアザホール ピアザ淡海県

病院協会今後の行事予定 ○平成27年度(第7回)研修医および 若手医師のためのフォーラム

ご逝去を悼む

故中嶋 重雄先生

元 完

済生会滋賀県病院 社団法人滋賀県病院協会

名誉院長)

副会長

○平成27年度(第4回)滋賀県女性医 平成27年12月3日休 大津プリンス

瀬田アーバン

りました中嶋重雄先生が、去る平成27年8月30日にご逝去されました。

事として、平成2年5月からは同病院院長を退任される平成4年6

の事業の推進にことのほかご尽力を賜

済生会滋賀県病院長に就任された直後の昭和57年4月から病院協会の理

月まで副会長として、当協会

(享年88歳)

ここに病院協会会員一同哀:

悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り

○平成27年度院内感染防止対策研修会 平成27年12月8日火 コラボしが21

平成7年12月16日(水 病院協会

○平成27年度滋賀県病院大会

会 平成27年度近畿病院団体連合会第1回委員会の開催 申し上げます。

琵琶湖ホテル 渡辺部長の来賓挨拶に引き続き ル日航奈良」で開催され2府4県の病院団体より63名が出席した。 容は、左記の通り。 会が今年度は奈良県病院協会が担当で平成27年7月24日(金)「ホテ 幹事県の奈良県病院協会今川会長のあいさつ、奈良県医療政策部 近畿各府県の病院協会が持ち回りで開催している標記第1回委員

1)報告·情報提供(2題)

①メディカル・スタッフの専 アンケート調査 門・認定資格取得及び待遇に関する

②地域包括ケア病棟 (病床) の運営状況について

 協議事項1 (3題)

①地域医療会議総合確保基金を活用した事業の実施状況について ②地域医療構想(ビジョン) ③地域医療構想策定にかかる進捗状況について 策定について各府県の進捗状況

3) 基調講演

講師 厚生労働省大臣官房審議官 (医療介護連携担当) 吉田

演題 ―地域包括ケアシステムの推進―」 「医療と介護の連携について

れや背景 された。 景について最新の資料をもとに説明 までの社会保障制度改革の一連の流

会の委員会は、滋賀県で開催される予定です なお、 次年度平成28年度近畿病院団体連合

お詫びと訂正

108号一面、当協会の法人名に間違いがあ 平成27年7月1日発行滋賀県病院協会報第

(誤り)

りまし

たので、お詫びして訂正いたします。

_ 般 |**財**

(正しい)

一般社団法人滋賀県病院協会

(2013年)、エボラ出 新型インフルエンザ (2009年)、H7N9 報道されました。 まれている島国という安 日本は、周囲を海に囲 歩や円安により、海外か らの観光客は急増し(平

み早7年が過ぎました。 してICT活動に取り組 この7年の間に、豚由来 ング熱 (2014年)、 コミを通じて国内に広く など様々な感染症がマス MERS (2015年)

感染管理認定看護師と

当院—CT (Infection Control Team:

感染対策チーム)のミッション

守山市民病院 感染予防対策室

室長

筒井

俊博

対応ができるようにして

を尽くすこと。これこそ

っていただけるよう最善 む人が心身に安らぎを持 最良の医療を提供し、病

ことを目標に、当院の

者さんに提供するため、 良の医療』をすべての患 当院が目指す医療、″最

合った医療を提供できる けられ、市民のニーズに

野々村院長は、「急性期

当院ICTのミッション

なのだと思います。急性

どを行う最強の医療とし 先端医療や最新の治療な 医療機関をハイリスクな

しとらえるならば、当院

地域の医療・福祉と

我々の病院には関係のな おくべきだと思います。 当院のような中小規模の

施設も万が一を想定した

らかの症状がある場合、 航歴のある患者さんに何

療機関だけでなく海外渡 大学病院や感染症指定医

それが当院の基本理念で

の状態に即した医療が受 さんの視点に立って、そ

院長就任時の挨拶から、 病院理念や野々村院長の されました。こういった

市民に誠意ある最適、

ていることがあります。

ションとして大切に考え

展が見込まれる中、患者

今後も少子高齢化の進

と院長就任時の挨拶で話

もうひとつICTのミッ

そのようなことから、

一感染制御ネットワークだより

(38)

血熱 (2014年)、デ ったように思います。し 心感から、海外で問題と かし、今は航空業界の進 薄に感じられる部分があ 症に対して、危機感が希 して報じられている感染

光で出国される方は多数 万人)おられます。いつ 日本に持ち込まれてもお 日本人も海外へ仕事や観 成26年約1、341万人)、 かしくない状況になって (平成26年約1、690

意識を共有しておくべき 染症対策についての危機 医療従事者が感染症の媒 いことではなく、私たち 体にならないために、 感染症対策も必要ですが、 こうしたグローバルな まで切れ目ない医療を受 期医療施設から在宅療養

ICTのミッションなの 役割りを担っている当院 機関の後方支援としての けられるよう急性期医療

えた、最良の医療を目指

すべき医療施設である」

ビスを提供することを考

連携し、救急から療養ま

で患者に最適な医療サー

T活動の原点ではないか

のミッションでありIC ること。これこそICT ことができるよう支援す 感染防止対策に取り組む 策を定め、総力を挙げて 全員が納得する感染防止 職員から広く意見を集め、

います。